

# 「公共施設再編推進事業」住民説明会 質疑応答

番号	住 民 質 問	市 回 答
1	再編を進めるにあたっては、市民に対し説明を丁寧に行うとのことだが、説明会に高齢者しか集まっていない現状を考えて、小学校・中学校を再編する場合には、若い人を集めて説明をするようにしてほしい。	「別府市公共施設再編計画検討委員会」の外部委員や市民からの意見でも、若い世代の人にこそ説明をするべきとの意見をいただいています。説明会の開催等については工夫していきたいと思います。今後30年間で公共施設の費用を30%削減する方針ですが、実はこの5年間にある程度取り組まないと、目標の達成は出来ません。今いらっしゃる皆様にも喫緊の課題だということでご理解をお願いします。
2	中山間地域は超高齢化が進んで非常に困っている。中山間地域の事はどのように考えているのか。	公共施設をどのように配置していくかは大きな課題ですが、国が言ってるコンパクトシティという考え方では、公共施設や医療・福祉・商業施設を中心部に集約するという方向も示されています。公共施設までの移動手段、公共交通の問題も一緒に考えていく必要があるので、関係課と連携していきたいと思います。
3	施設の再編計画については当然の事である。民間の場合は経営計画を立てて行っているわけであって、公共機関だからそのまま維持継続できるわけではない。取組みを始める時期自体が遅い。ハコモノばかりを作ってきた過去の行政のことをいっても仕方ないし、これから人口も税収も減っていくのは確実である。再編について、住民の意見を聞いては、なかなか進まない。市長の英断で議会とよく相談をして取組んでもらいたい。再編計画のまとめかたは非常によい。	民間の経営感覚は当然の事ですが、行政が建設コストの事しか考えてこなかったのが実際であり、経営的視点がなかった反省も踏まえ、しっかりと再編計画を実行していきたいと思います。
4	別府市勤労者研修センターについては老朽化のため機能移転、集会室は他の施設に集約化するとなっている。現在、集会室を無償で借りているが、今後の建物の計画はすべて決まっているのか。	すべて決まっているわけではありません。これから丁寧に協議していきます。研修センターは大分県東部勤労者福祉センターの事務所として使っている部分と2階を集会室として使っている部分があります。当初の利用目的と変わっており、建築後40年以上を経過した旧耐震の建物です。勤労者福祉センターの事務所については、違う場所に事務所を確保していただきます。集会室について、どこに機能移転・集約するかは、これから丁寧に協議させていただきます。
5	今回は、ただの説明会ということか。それとも、今後自治会と協議をしていくということなのか。	今回の説明は再編計画についての説明ですが、老朽化・財政上の問題等を踏まえて、それぞれの地域においてどういった形で施設を複合化・集約していくかという具体的な個別計画については、これから皆さんとよく協議しながら進めていきたいと思っています。
6	再編を提案するのであれば、役所で押し進めてもらいたい。自治会に諮っても、今までの経緯から見てもなかなか前に進まず、全部後手後手になる。今日の説明については、皆十分に理解していると思う。役所から案を提示して、それを承認する形にしてもらいたい。どうしても住民が納得できない箇所があれば、それは個別に話をする形にしてもらいたい。行政の最終案で構わないので、出来た段階で提示してほしい。	複合化・集約化については、きちんと市から案をお示しして対策を取っていきます。施設までの距離が離れたりする部分については、公共交通等も含めて総合的な対策を考えていきたいと思っています。
7	民間の場合は、減価償却等も考慮したうえで、施設整備計画を作成している。市は行っていないのか。旧南小学校跡地については、図書館ができる計画が直前で消えてしまった。民間では考えられない。空いた土地は売却となっているが、旧南小学校・羽室台高校・浜脇中学校・山の手中学校の跡地は、今後新しい施設ができることはないと思うので、どの部署が責任を持って作業をするのかを考えていただきたい。	公共の建物は、減価償却という会計処理がなく、民間の経営感覚がなかったのは事実です。跡地活用については、公民連携課も含めて関係部署できちんと方針をたてて対応できるよう、関係課で仕組みをつくっているところです。市全体として、跡地の問題には対応していきたいと思っています。

# 「公共施設再編推進事業」住民説明会 質疑応答

番号	住 民 質 問	市 回 答
8	高齢化が進んで人口が減っていく中、住民サービスが今まで以上に必要になってくる。公共施設の再編は住民サービスの低下になると思う。若い人はまだいいが、高齢者は自治体に頼らざるを得ない。住民サービスの低下にならないような再編計画にして欲しい。公民館研修に行った際に、公民館と出張所が一体となっている施設があった。そういった先進地事例も参考にしてもらいたい。	「別府市公共施設再編計画検討委員会」の外部委員からも、これからは福祉サービス機能はより求められるとの意見がありました。その際には、必ずしも市のハコモノである必要はありません。地域包括支援センターも各中学校区に設置されており、高齢者のサロン等も空き家を活用して設置していこうとしています。公共施設を減らせば必ずしもサービスが低下するわけではないと考えています。
9	扇山には公共施設は学校と市営住宅しかない。坂道ばかりであり、大雨の時に非難する場所がない。公共施設をこの辺りにつくる事はないのか。南立石公園に図書館をつくるなどして、利用者が集まるようにしてもらえないか。	公共施設の再編は防災の面と一緒に考えなければなりません。再編を進める際には、防災危機管理課と十分協議をして進めていきます。施設の地理的なバランスについては、ばらつきがあります。今後、扇山地区の方の避難場所の確保については、この場でどうするとは言えません。公共が施設を確保する場合もあるし、今は民間と協定を結んで災害の際の避難場所を確保するというケースもあります。そのあたりも踏まえて、今後検討していきます。公園にどのような公共空間が求められているのかは、これから市民の皆様と協働で考えていきたいと思えます。
10	既存施設をどう再編するにしても、多額のお金（税金）がかかる。再編する際に、利益を追求することを考えているのか。	再編に当たっては、民間活力の導入も検討しています。特に、利用料がある施設については、収益事業として黒字化していく努力が必要です。スポーツ施設・文化施設などは、そうしないと施設の維持管理費が賄えない。収益事業を自治体が行って失敗した例はたくさんあるので、公共空間を規制緩和して、民間の資金やアイデア、ノウハウで収益が出るような方法も考えていきます。
11	公共施設に係る費用を30年間で30%圧縮するとなっている。廃止する計画はきちんと何年前かに教えていただけるのか。施設を圧縮されると困るので、逆に増やして欲しいくらいである。どのように施設を圧縮していくのか教えて欲しい。また、他の地域と一緒に使用するのはあまり好ましくない。	圧縮の目標を達成していく方法としては、複数の施設を集約化して施設廃止により量を減らすこと。もう1つの方法としては、残す施設の保全を行い長寿命化していくことです。これまでは事後保全ばかりであったが、これからは計画的に予防保全を行っていきます。利用料金収入を増やし、施設を黒字化する方法を考えていきます。どの施設を残すかは、再編方針をもとに個別に計画を立てていくので、なるべく早く皆様に提示していきたいと考えていますが、ある程度まとまった地域での再編を想定しています。
12	亀川小学校の築年数が51年となっているが、どの時点での築年数か。亀川幼稚園は、もうないのではないか。	平成27年3月末時点のデータを基に再編計画を策定しているので、現在はすでに存在しない施設等も一部含まれています。配布資料の築年数については、同じ小学校の中でも最も古い棟の年数を記載しています。
13	建替えは良いが、災害時の避難場所が全然ないので、そこに投資して欲しいという意見がたくさんある。避難が出来る場所として時代にあった施設を作って欲しい。	公共施設の再編計画を進めるに当たっては、防災の観点からも考えていかなければなりません。防災危機管理課と協議をして進めていきたいと思えます。
14	図書館についての説明をして欲しい。	図書館については、教育委員会の社会教育課が、図書館・美術館の整備基本構想を昨年度策定しています。今後も引き続き検討していくという方針ですので、再編を担当する公民連携課としては、教育委員会の動向を見ながら今後のことについて一緒に検討していきたいと思えます。今のところは、まだ図書館・美術館について明確な方針は示されていない状況です。

# 「公共施設再編推進事業」住民説明会 質疑応答

番号	住 民 質 問	市 回 答
15	<p>施設一つ一つの老朽化等については理解できるが、市の全体の収支、人件費も含めてどう変わっていくかという全体像が見えない。おおまかでいいから、どうやって経費を削減していくかという全体像を示していただかないと判りにくい。</p>	<p>今年度、別府市では行政改革大綱を策定します。その中で、別府市として財源の確保・歳出の適正化等いろいろな対策を行っていかねばなりません。その中の柱の一つとして公共施設の適正配置と管理運営の効率化もあります。大綱策定後、行政改革推進計画を策定し、取組結果としての効果額を示せる予定ですので、公共施設の経費だけではなく、今年度中には市全体の財政状況と将来像を示せると思います。今日の時点で全体像を説明するのは難しいが、今後の財政見通しの中で、今ある施設を改修するためのお金は盛り込まれていません。施設の量は減らしていかなければならないが、同時に施設の利用率を上げて収益を増やしたり、人件費・光熱水費等を減らしていく努力もしなければなりません。こういったことすべてに取組まないと、別府市全体の財政状況の改善にはなりません。</p>
16	<p>日出町と合併することは考えられないのか。機能化・集約化の際に、別府市の施設だけ考えればよいのか。国や県の施設の有効利用は考えられないのか。他自治体との連携は考えられないのか。</p>	<p>再編計画の利用者アンケートの中でも、「どの施設から見直すべきだと思いますか」という優先度について「国県の代替施設があるもの」が3番目となっています。また現在、連携中枢都市圏構想というものがあって、大分市・別府市・日出町など県内7市1町で構成する大分都市広域圏推進会議を設置し、広域的にいろいろな行政課題に対応していこうと協議を行っています。その中で、公共施設の相互利用というのも項目としてあります。そういった中で、今後は広域的な視点でも見ていきたいと思っています。</p>